



平成30年9月6日18時30分
札幌管区気象台

平成30年9月6日03時08分頃の胆振地方中東部の地震について

気象庁では、平成30年9月6日03時08分頃の胆振地方中東部の地震について、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と決めました。

平成30年9月6日03時08分頃の胆振(いぶり)地方中東部の地震により、胆振地方東部を中心に顕著な被害が発生したことから、気象庁は、今回の地震について、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と決めました。

なお、名称を定める基準及び付け方等は、気象庁ホームページでご覧いただけます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/meishou/meishou.html>

なお、次ページ以降に地震活動についての資料を添付しています。

平成 30 年 9 月 6 日 03 時 08 分頃の胆振地方中東部の地震について
－厚真町で震度 7 を観測しました－

胆振地方中東部の地震において、震度データが入電していなかった地点のデータが入電し、厚真町で震度 7 を観測していたことがわかりました。

震度 5 弱以上と推定され震度データが入電していなかった地点のうち、以下の 8 地点で震度データが入電しましたのでお知らせします。

○観測点名	○入手した震度
厚真町鹿沼（あつまちょうしかぬま）	7
厚真町京町＊（あつまちょうきょうまち）	6 強
むかわ町松風＊（むかわちょうまつかぜ）	6 強
むかわ町穂別＊（むかわちょうほべつ）	6 強
日高地方日高町門別＊（ひだかちほうひだかちょうもんべつ）	6 弱
平取町振内＊（びらとりちょうふれない）	6 弱
新冠町北星町＊（にいかっぷちょうほくせいちょう）	5 強
新ひだか町静内御幸町＊（しんひだかちょうしずないみゆきちょう）	5 強

* 印は気象庁以外の震度観測点についての情報です。

なお、今後、新たに震度データを入手した場合、以下の資料を随時更新します。
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2018_09_06_iburi/iburi_shindo.pdf

平成30年9月6日03時08分頃の胆振地方中東部の地震で震度データが入電していない観測点^(注)
における推定された震度とその後の入電状況

未入電観測点	読み	推定される震度 ¹	その後の入電状況 ²	震央距離
厚真町鹿沼	あつまちょうしかぬま	6弱	7	9km
厚真町京町*	あつまちょうきょうまち	6強	6強	11km
むかわ町松風*	むかわちょうまつかぜ	6弱	6強	13km
むかわ町穂別*	むかわちょうほべつ	6弱	6強	14km
平取町本町*	びらとりちょうほんちょう	5強	<u>5強</u>	15km
日高地方日高町門別*	ひだかちほうひだかちちょうもんべつ	5強	6弱	23km
平取町振内*	びらとりちょうふれない	5弱	6弱	25km
新冠町北星町*	にいかつぶちょうほくせいちょう	5強	5強	44km
新ひだか町静内御幸町*	しんひだかちょうしずないみゆきちょう	5強	5強	49km
新ひだか町静内農屋*	しんひだかちょうしずないのや	5弱	<u>4</u>	51km
札幌厚別区もみじ台*	さっぽろあつべつくもみじだい	5弱	-	56km
札幌清田区平岡*	さっぽろきよたくひらおか	5弱	-	57km
札幌白石区北郷*	さっぽろしろいしくきたごう	5弱	-	63km
札幌東区元町*	さっぽろひがしくもとまち	5弱	-	68km
札幌北区篠路*	さっぽろきたくのろ	5強	-	73km
札幌北区新琴似*	さっぽろきたくしんことに	5弱	-	73km
札幌手稲区前田*	さっぽろていねくまえだ	5弱	-	77km

*印は気象庁以外の震度観測点についての情報です。下線は前回報告からの更新部分を示す。

(注)震度5弱以上と推定されるが、現在、震度データを入電していない観測点のみ掲載している。

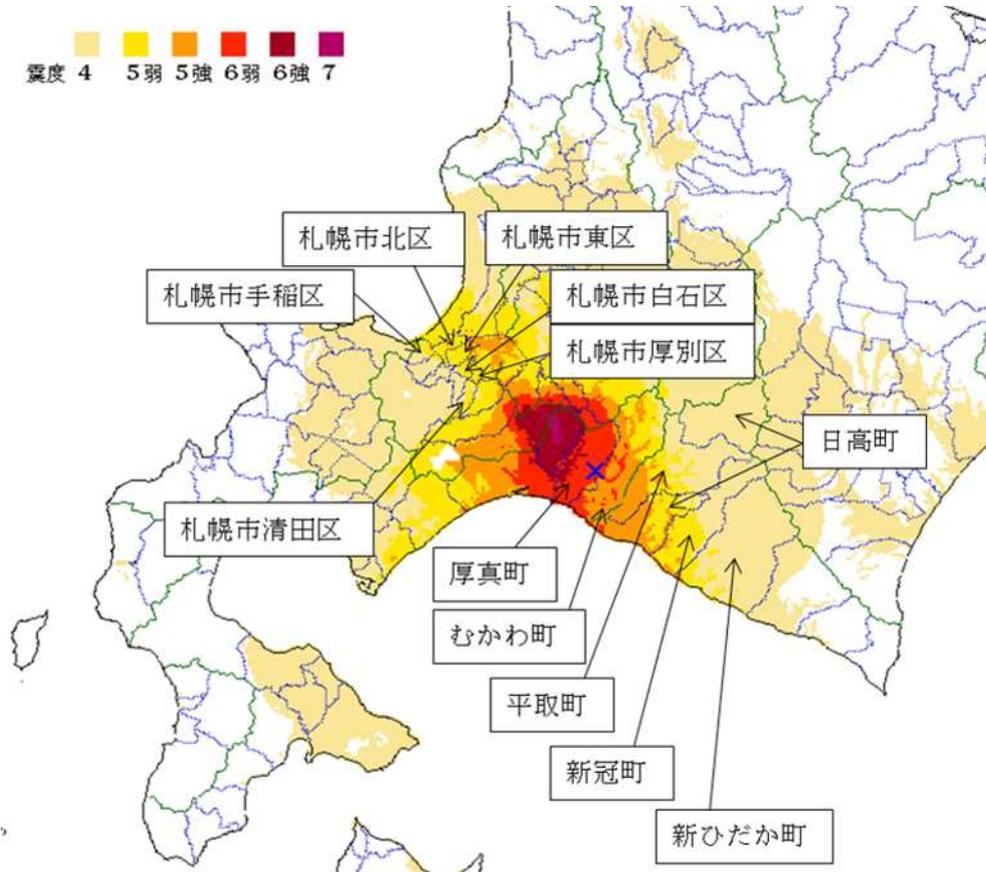
1:未入電観測点における推計震度分布図での推定値

推計震度分布図での推定値と観測される震度は誤差が含まれ、1階級程度ずれることがありますのでご注意ください。

また、今回の推計震度分布図は震央付近の震度データが入電しておらず、過小に評価されている可能性がありますのでご注意ください。

2:「-」は震度データの入電がない観測点。

推計震度分布図

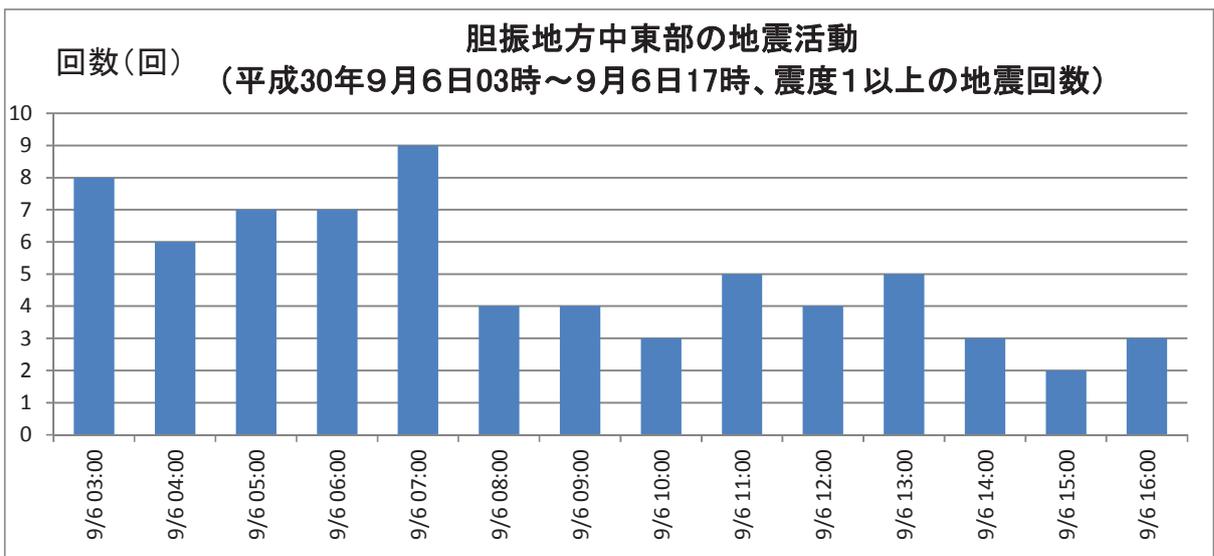


胆振地方中東部の地震活動の最大震度別地震回数表

平成30年9月6日03時～9月6日17時、震度1以上

(注)掲載している値は精査により、後日変更する場合があります。

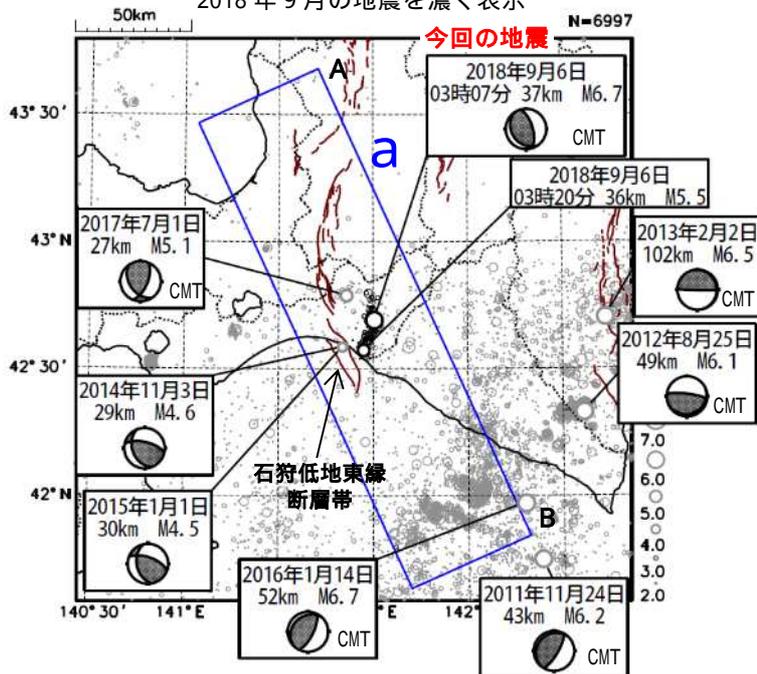
時間帯	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
9/6 03時-04時	1	2	3	1	0	0	0	0	1	8	8	6強を7に変更
04時-05時	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	14	
05時-06時	5	0	2	0	0	0	0	0	0	7	21	
06時-07時	1	3	2	1	0	0	0	0	0	7	28	
07時-08時	5	4	0	0	0	0	0	0	0	9	37	
08時-09時	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	41	
09時-10時	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	45	
10時-11時	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	48	
11時-12時	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	53	
12時-13時	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	57	
13時-14時	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	62	
14時-15時	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	65	
15時-16時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	67	
16時-17時	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	70	
総計	34	23	10	2	0	0	0	0	1		70	



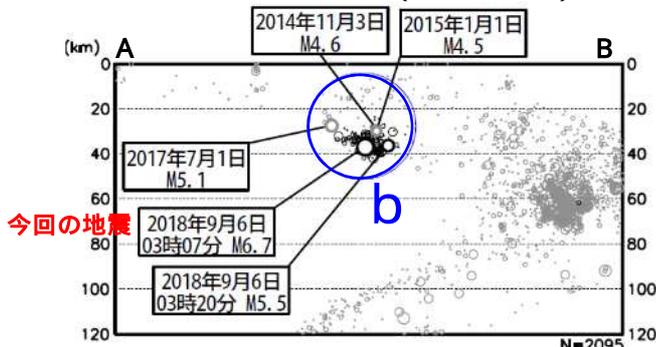
平成 30 年北海道胆振東部地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年9月6日12時、
深さ0～120km、M 2.0)
2018年9月の地震を濃く表示

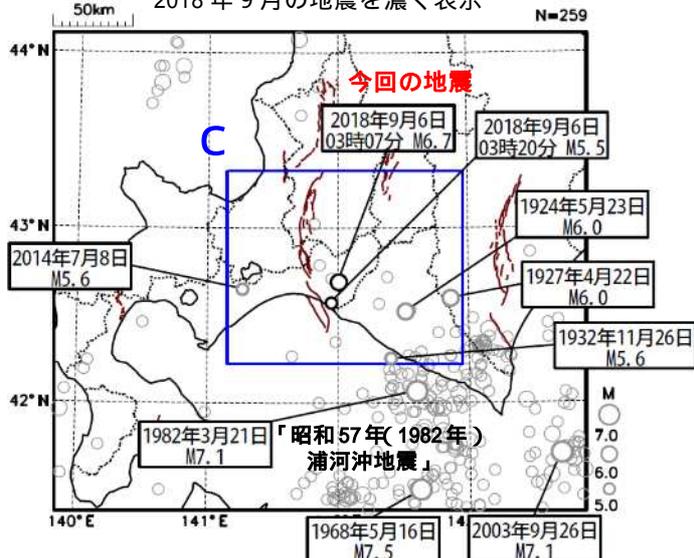


領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年9月6日12時、
深さ0～60km、M 5.0)
2018年9月の地震を濃く表示



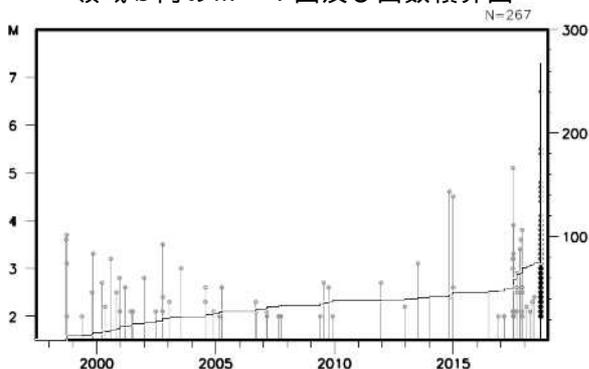
今回の地震 (M6.7) を除き、9月5日以降の震源は精査前。9月6日の規模の小さな地震は漏れている場合がある。

2018年9月6日03時07分に胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震 (最大震度7) が発生した。この地震は、発震機構が東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した。この地震により死者2人、心肺停止1人、重傷3人、安否確認中35人、土砂崩れ等による家屋倒壊29件等の被害が報告されている (9月6日13時30分現在、総務省消防庁による)。今回の地震の震源周辺には、石狩低地東縁断層帯が存在している。

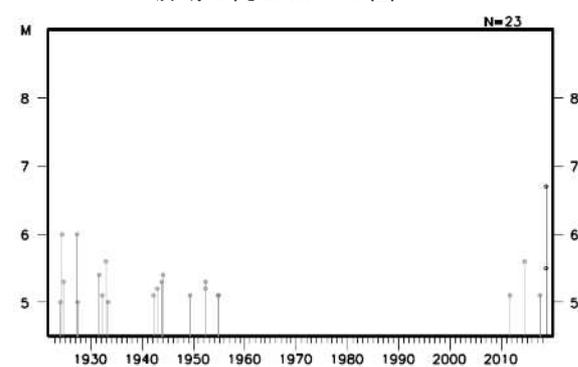
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0程度以上の地震が時々発生している。2017年7月1日には、今回の地震の震央から北西に約15km離れた場所でM5.1の地震 (最大震度5弱) が発生した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、これまでM5.0以上の地震が時々発生していたが、M6.0を超える地震は今回が初めてであった。また、今回の地震の震央から南東に約80km離れた場所では、「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」が発生し、負傷者167人などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M - T 図及び回数積算図



領域 c 内の M - T 図

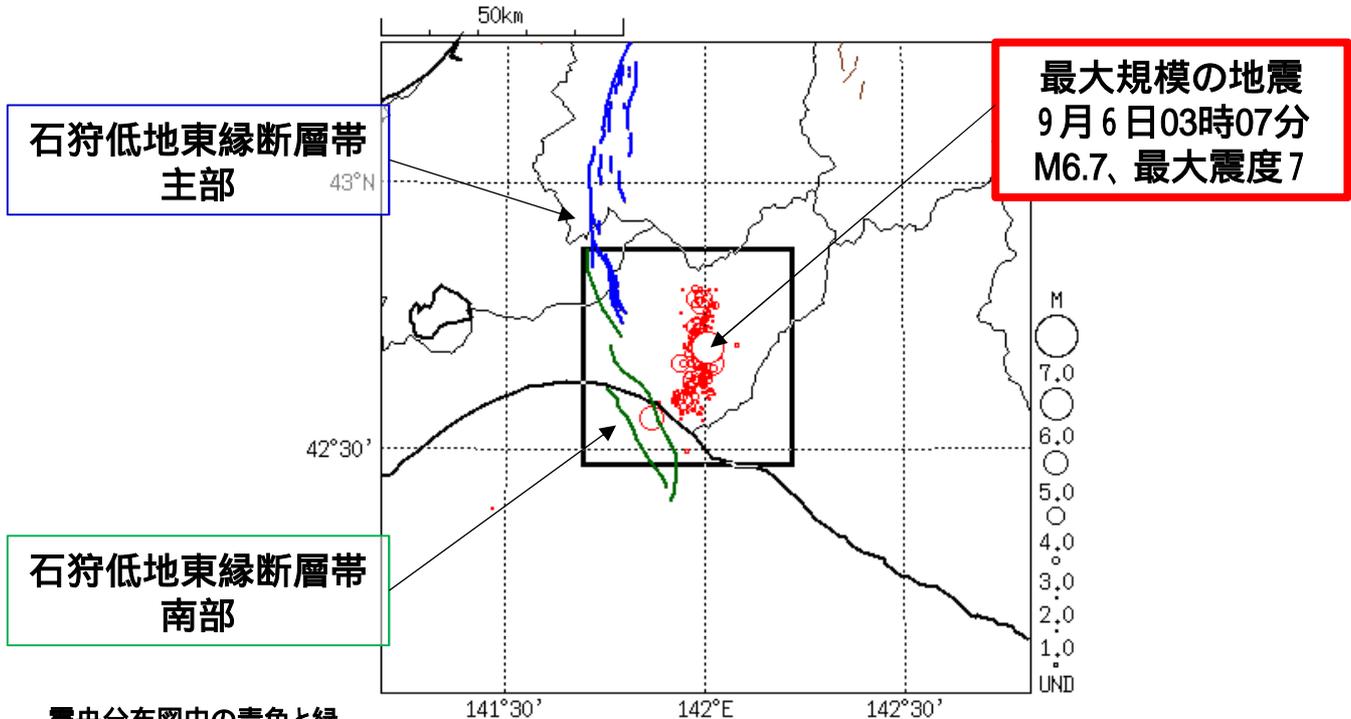


震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

「平成30年北海道胆振東部地震」 地震活動の状況（9月6日16時00分現在）

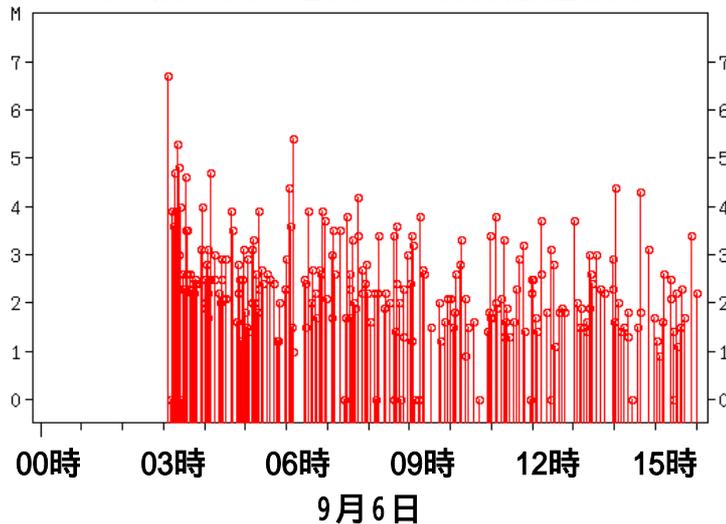
震央分布図

(2018年9月6日00時00分～16時00分、M全て、深さ0～60km)



震央分布図中の青色と緑色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

震央分布図の矩形内の地震活動経過図



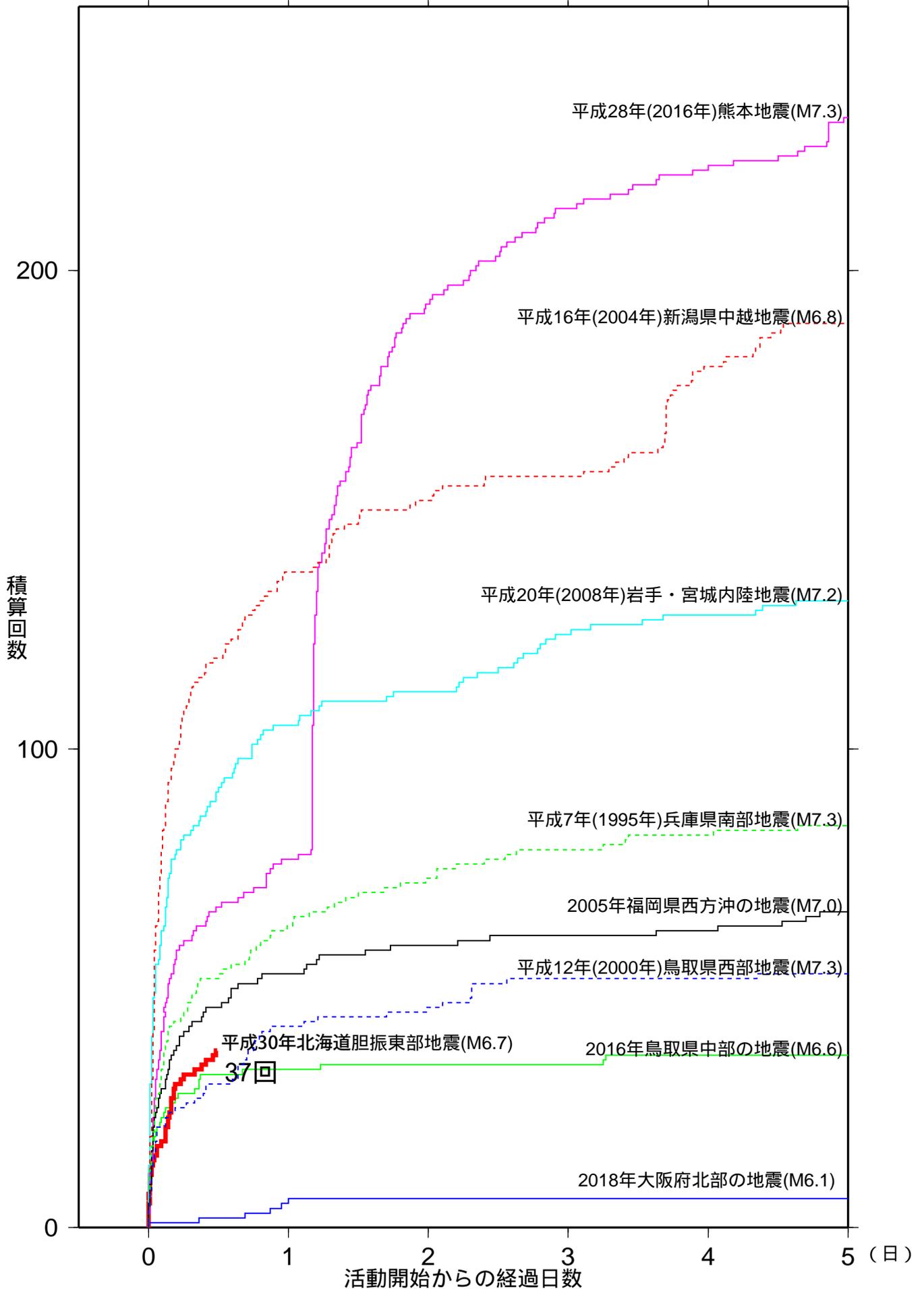
横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

< 資料の利用上の留意点 >

- ・表示している震源は、自動処理による結果です。
(9月6日03時07分のM6.7の地震は、精査した震源を表示しています。)
- ・発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 地震回数比較 (マグニチュード3.5以上)

2018年09月06日16時00分現在



この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。
地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

気象庁作成